



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 三井住友建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 則久 芳行
(コード番号 1821 東証第一部)
問合せ先 企画部長 岩城 純一
(TEL 03-4582-3016)

「第 4 次中期経営計画 2013-2015」策定に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 15 日開催の取締役会において、平成 25 年度を初年度とする「第 4 次中期経営計画 2013-2015」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、これまで「第 3 次中期経営計画(平成 22 年度～平成 24 年度)」を推進し、その基本方針である「国内土木・国内建築・海外事業を 3 本の柱とし持続的な成長を目指す」とともに「強みのある分野を更に磨き、当該分野を中核として規模の維持・収益の確保を図る」ことで企業価値の向上に努めてまいりました。その結果、海外事業が第 3 の柱へと成長したこと等の成果により、連結業績は概ね計画を達成することが出来ました。

今般、今後の 10 年間で展望し、直面する課題を克服し、安定した経営基盤の確立に向けた強い事業基盤を構築するために、平成 25 年度を初年度とする「第 4 次中期経営計画 2013-2015」を策定いたしました。テーマとして『「挑戦」～新たなる飛躍へ～』を掲げるとともに、基本方針を以下のとおり定めました。

基本方針 ◇事業の 3 本柱の質的強化と収益基盤の重層化

1. 国内建設事業の「競争力、収益力の向上」
2. アジアを中心とした「海外事業の基盤強化」
3. 持続的社会貢献を可能とする「未来への投資」

当社グループは、全社を挙げて本計画を遂行し、株主価値・企業価値の向上に努めてまいります。株主様をはじめ関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

第4次中期経営計画 2013-2015

「挑戦」 ～新たなる飛躍へ～

2013年5月15日



三井住友建設

第4次中期経営計画 2013-2015

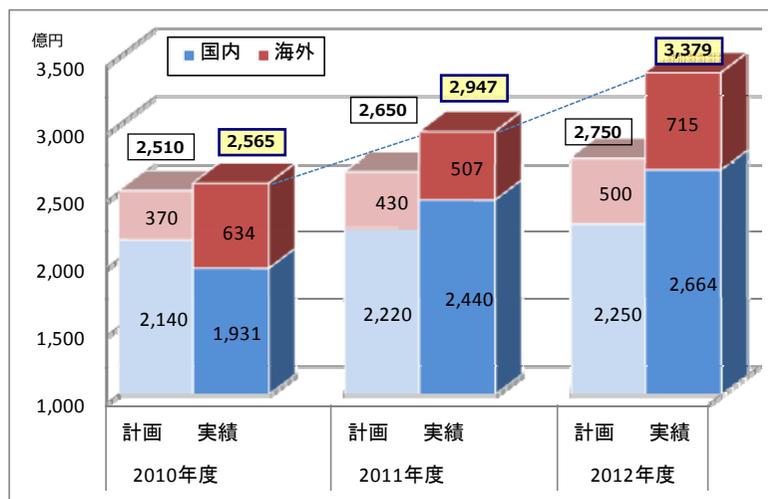
1. 第3次中期経営計画レビュー	1
2. 市場認識と当社が目指す事業の方向性	2
3. 第4次中期経営計画 基本方針	3
4. 事業計画	4
5. 数値計画	9

1. 第3次中期経営計画レビュー

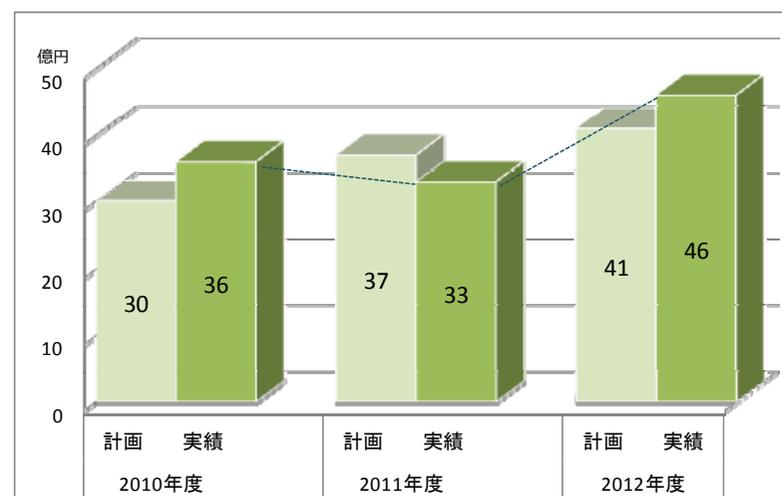
連結業績計画は概ね達成

- 工事受注高（海外現地法人含む）、連結経常利益で計画を達成
- 土木事業は堅実な展開を持続、建築事業は工事採算確保に課題
- 海外事業は、質, 量ともに計画を達成、事業の第3の柱に成長

工事受注高（海外現地法人含む）



連結経常利益



2. 市場認識と当社が目指す事業の方向性

今後の10年間で展望した海外事業強化と新事業領域の育成

<建設市場の展望>

- ・ 国内建設投資は中長期的には大きな伸び見込めず、厳しい競争環境が継続
- ・ 新設から維持更新への流れ、取り組み形態もPFI/PPP方式等多様化へ
- ・ 復興関連事業の本格化、国土強靱化の推進、環境エネルギー市場の成長
- ・ 東南アジアを中心とした市場の拡大と日系企業の活発な進出



<当社が目指す事業の方向性>

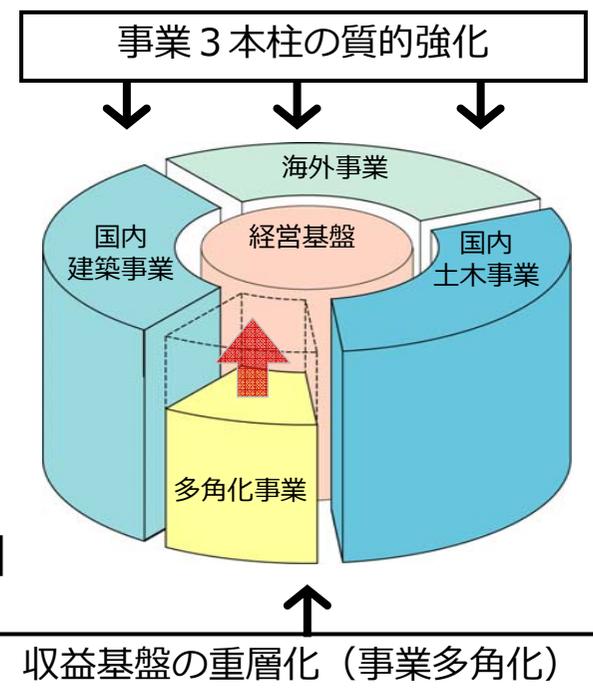
- 本業のグローバル化の推進と、新事業領域での収益基盤の重層化への挑戦
 - ・ 国内市場は、強みのある分野を中心に、質重視の取り組み体制を強化
 - ・ 海外市場では、着実に体制、基盤を強化し、次なる飛躍へ
 - ・ 新事業領域に取り組み、収益基盤の重層化、安定化を実現

3. 第4次中期経営計画 基本方針

【基本方針】

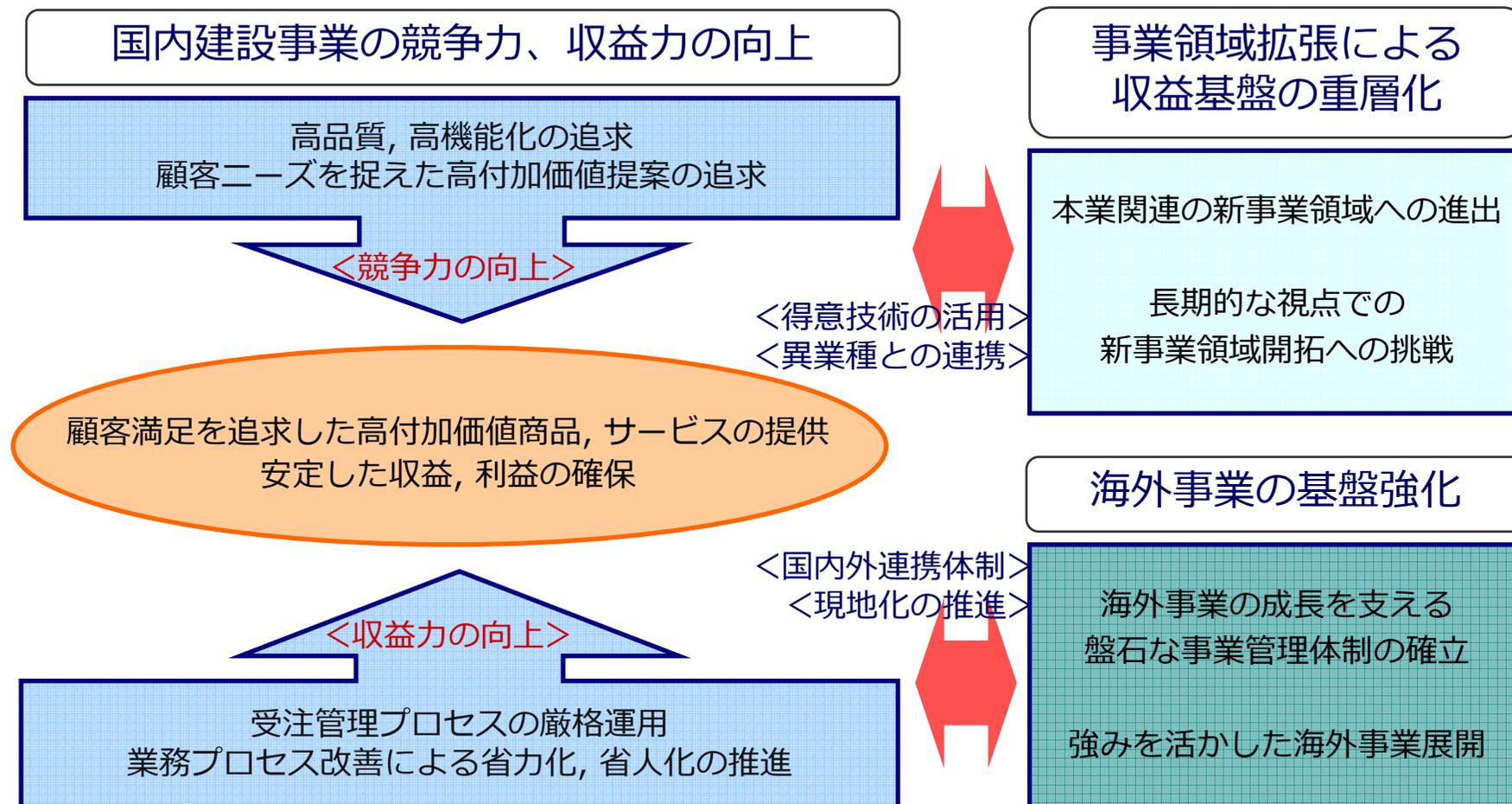
事業の3本柱の質的強化と収益基盤の重層化

1. 国内建設事業の「競争力、収益力の向上」
 - ・強みのある分野への注力、高付加価値商品、サービスの提供
2. アジアを中心とした「海外事業の基盤強化」
 - ・500億円体制(現地法人含む)から700億円体制へ
3. 持続的社會貢献を可能とする「未来への投資」
 - ・PFI/PPP等の新たな事業領域への挑戦



安定した経営基盤と強い事業基盤を構築

4. 事業計画



4-1. 国内土木事業

中核分野の競争力, 収益力の向上と、
維持更新市場および復興関連事業への取り組み強化

■ PC橋分野の進化

- ・ ブランド力の強化
- ・ オンリーワン技術の追求
- ・ 総合的な提案力のレベルアップ
- ・ 強みを活かした 良質な工事の受注



世界初の複合橋技術、蝶型形状のコンクリートパネルを用いて実現したバタフライウェブ橋「田久保川橋」

■ トンネルを中心とした一般土木の強化

- ・ 大型プロジェクトへの 組織的取り組み
- ・ トンネル分野での積極的な取り組み
- ・ エネルギーや鉄道分野等を民間土木事業の コアとして育成

■ 維持更新市場・復興関連事業の取り組み

- ・ 橋梁リニューアル、インフラ維持更新への積極的な取り組み
- ・ 復興道路, 街づくり支援対応の強化
- ・ 除染, 廃棄物処理事業への参画

4-2. 国内建築事業

マンション分野の収益力の向上と 非住宅分野のソリューション営業の推進

■ マンション分野の収益力強化

- ・ SuKKiTを軸にした高付加価値商品提案
- ・ プレキャスト化, 工業化を駆使した
工期短縮, コスト低減の推進

※ SuKKiTとは

開放感や自由度等付加価値の高い住空間を実現する自社が開発する
新しい集合住宅設計システムシリーズの名称



SuKKiT 採用案件の受注拡大



プレキャスト化の推進

■ 非住宅ソリューション営業の強化

- ・ 商業施設, 物流倉庫施設を中心に
顧客ニーズをとらえた
ソリューション営業の推進
- ・ 教育関連施設等へのノウハウを活用した提案力の強化

■ リニューアル事業への取り組み

- ・ マンション建替え, 大規模修繕等
へ積極的な展開
- ・ 耐震化, 環境, 省エネ提案の推進
- ・ 復興関連、国土強靱化への対応

4-3. 海外事業

500億円体制から700億円体制へ

～事業規模700億円体制を支える盤石な海外事業基盤の早期確立～

■ 安定した営業基盤の構築

- ・ 成長市場である東南アジア、インド等におけるプレゼンスの拡充
- ・ 国内外, 本支店連携による積極的な営業推進
- ・ 現地ゼネコン等との連携, 協働の推進

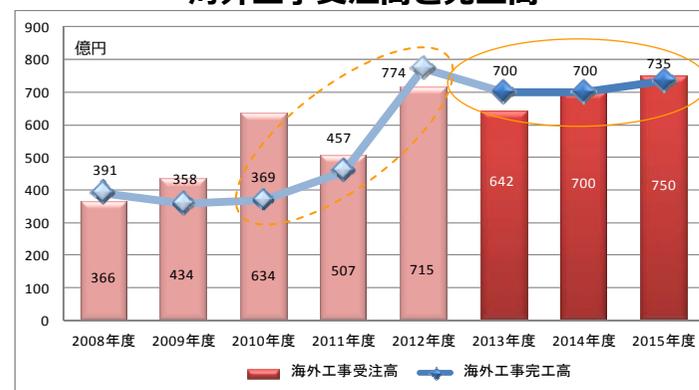
■ 海外事業体制の強化と現地化の推進

- ・ グローバル社員の充実
- ・ リスク管理体制の一層の強化
- ・ 現地スタッフの育成の充実及び積極的な登用



ベトナムハノイ
ニヤットン橋

海外工事受注高と完工高



4-4. 事業多角化

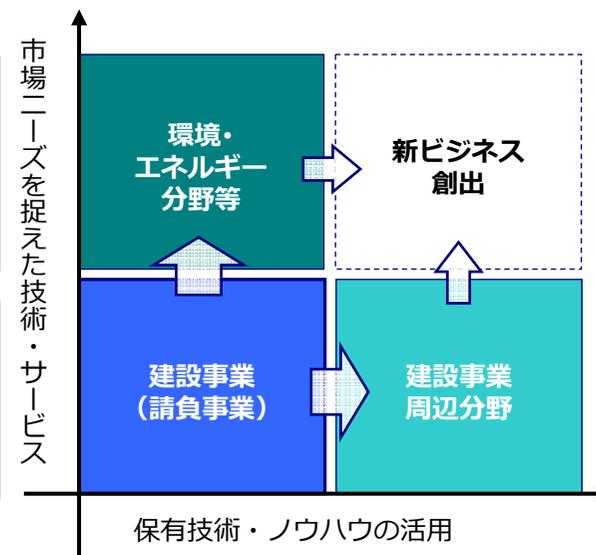
収益基盤の重層化をはかる新たな事業領域への挑戦

～長期的視点で新規収益源となる事業の開拓～

- ・ 現事業のコンピタンスを活かした周辺事業の収益化
- ・ 異業種コラボレーション等による新たなサービスの提供

■ 事業多角化のための取り組み分野

建設事業の周辺分野	<ul style="list-style-type: none">・ PFI, PPP事業への取り組み - 公共施設, インフラ更新事業等・ CM業務への取り組み
環境・エネルギー分野等	<ul style="list-style-type: none">・ 再生可能エネルギー発電事業・ 新たなまちづくりへの参画 - スマートコミュニティ等



5. 数値計画

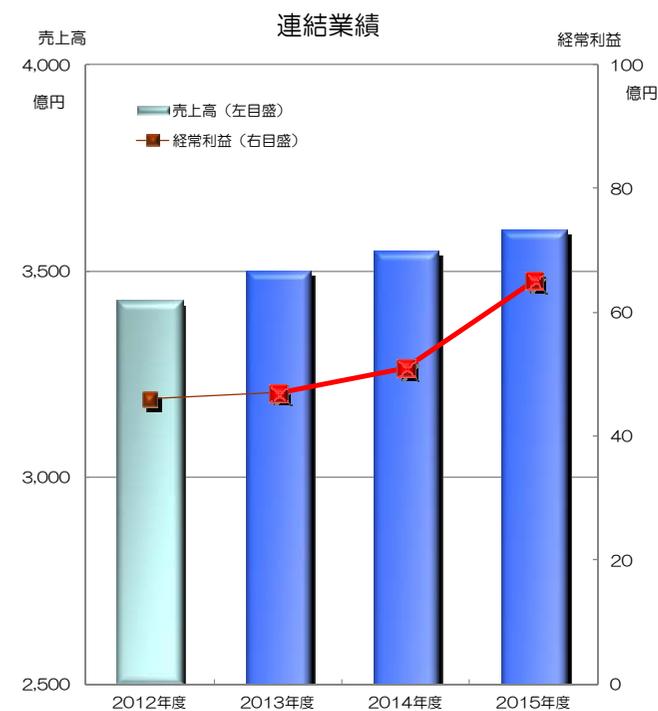
- ・ 連結経常利益 65 億円を達成
- ・ 普通株式の復配を目指し、全社一丸で目標達成に邁進

連結業績 (億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画
売上高	3,427	3,500	3,550	3,600
営業利益	58	71	75	95
経常利益	46	47	51	65

単体業績 (億円)

	2012年度 実績	2013年度 計画	2014年度 計画	2015年度 計画
受注高	2,906	2,500	2,600	2,700
売上高	2,561	2,650	2,650	2,700
営業利益	18	28	32	50
経常利益	12	14	18	32





三井住友建設

お問い合わせ先

企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。